

※障がいがある者として推薦を希望する場合

調 書 (1) (記 載 例)

(様式第1)

		障がい者		職 種 名 (1)			職 種 名 (2)							
		部 門		汎用金属工作機械工			マシニングセンタオペレーター							
ふりがな 氏 名 (雅号等)	ぎのう ゆうこ			職 歴			在 職 期 間			在職年月数		重複を除く 年月数		
	技能 優子													
生 年 月 日	明治 大正 昭和56年12月17日(41歳)男・ 女			(株)〇〇工業〇〇支部第 二製造部〇〇課に電機工と して就職			年 自平 8 4 1 至平 27 3 31 19 0			年 月		27年7月		
	平成 (令和5年11月1日現在の年齢)													
現 住 所		〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇号 TEL 〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇			同課の××班の指導係員に 就任し現在に至る			自平 27 4 1 至令 2 3 31 5 0			年 月		27年7月	
就業地	事業所名	株式会社〇〇工業 〇〇 支部		企業全体の 従業員数 (〇〇人)										
	所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇号 TEL 〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇			自令 2 4 1 至令 5 11 1 3 7			在職年月数は半月単位で記入する。 現職については、令和5年11月1日をもって終期とすること。						
障がい名・障がい程度	障がい名	該当	障がい程度1 (第1種、第2種)	障がい程度2 (1~6等級)	障がい名	該当								
	身体障がい (視覚障がい)				知的障がい									
	身体障がい (聴覚障がい)	○		2級	障がい程度	療育手帳による程度の区分		A ・ B						
	身体障がい (音声・言語)					判定書による重度判定								
	身体障がい (肢体不自由)				障がい名	該当	障がい程度 (1~3級)							
	身体障がい (内臓障がい)				精神障がい									
	【知的障がいの場合の障がいによる程度について】 ○療育手帳による程度の区分 療育手帳等で次の記載が確認される場合は「A」を記入すること (A、A、A1、A2、A3、1度、2度、A重、A中、A2a、A2b、A最重度、A重度)。それ以外は「B」を記入すること。 ○重度知的障がい者判定による重度判定 上記の療育手帳による程度の区分に「B」と記入した場合で、地域障がい者職業センターが行う重度知的障がい者判定を受け、判定書が交付された者は、当てはまる判定(「判定される」または「判定されない」)を記入すること。													
勲章・褒章 有・無	表	<大臣表彰> (1) 障害者雇用優良事業所等厚生労働大臣表彰(令和〇〇年〇月) 優秀勤労障害者として表彰				免許・資格等	免許・資格等名		取 得 年 月					
	彰	<県知事表彰> (2) 茨城県優秀勤労障害者(平成〇〇年〇月) 優秀勤労障害者として表彰 <その他> (3) 〇〇…					・特級〇〇技能士 ・1級〇〇技能士 ・茨城県ものづくりマイスター(〇〇)		平成〇〇年〇月 昭和〇〇年〇月 平成〇〇年〇月					
大会入賞歴	大会名	開催回	競技種目	順位	大会名	開催回	競技種目	順位						
	国際アビリンピック入賞	第 回大会			地方アビリンピック入	第 11 回大会	機械 CAD	金賞						
	全国障がい者技能競技大会入賞 (全国アビリンピック入賞)	第 32 回大会	機械 CAD	銅賞										